

○ “ふれあいの森”（おいらせ知^{とも}の会）植樹活動

6月30日（土）、十和田市大字奥瀬字谷地国有林119林班内において、「川を守るためにみんなで植樹をしましょう。」をスローガンに掲げ、河川浄化活動等を展開しているボランティア団体“おいらせ知の会”の植樹活動が行われました。

“おいらせ知の会”では、十和田市の中心を流れる奥入瀬川を始めとする河川の潤いある水辺空間や動植物の環境保全を図るため、川や水辺に関心を持つ地域住民が「かわ」のあり方について提言し、河川の浄化活動等を行っています。

当日は天候に恵まれ、小学生以下の児童を含む35名の会員とその家族の方々が参加され、植樹前のセレモニーでは、田中会長の開催挨拶の後、佐藤署長より「長年のボランティアによる植樹活動に感謝します。」と挨拶し、模範植樹を行い植樹を開始しました。

参加された会員の方々は、親子で助け合いながら、一生懸命にブナの苗木100本を植樹しました。植樹後は、恒例となったミニ森林教室が行われ、流域管理調整官から立木の測定方法について説明があり、実際に輪尺や測竿を使用して胸高直径、樹高の測定を行いました。

その後、参加者全員で記念撮影を行い、奥入瀬川焼山まで下山して昼食をとり、当日の日程を終了しました。



佐藤署長の挨拶



植樹の様子



胸高直径の測定中



参加者全員で記念撮影